

# 日本結核病学会北陸支部学会

## —— 第85回総会演説抄録 ——

平成26年11月8日・9日 於 福井大学医学部学生講義棟（福井県永平寺町）

（第74回日本呼吸器学会  
第59回日本呼吸器内視鏡学会 と合同開催  
第44回日本サルコイドーシス学会）

集会長 石 塚 全（福井大学医学部病態制御医学講座内科学(3)）

### —— 一 般 演 題 ——

**1. 高カルシウム血症を伴う全身性結核の1例** °山本直輝（福井赤十字病初期研修医）渡邊 創・奥野雄大・多田利彦・菅野貴世史・塩崎晃平・出村芳樹・赤井雅也（同呼吸器）

51歳のフィリピン人女性。持続する微熱を主訴に胸腹部CTを撮影したところ、肺、胸腹部リンパ節、腹腔内、左手手関節に病変があり、喀痰検査で結核と診断した。

治療前の補正カルシウム値は11.0 mg/dlであった。過去6.5年間に当院で培養陽性もしくはTB-PCR陽性で診断した231名の結核患者のうち、治療前の血清カルシウム値が得られた173名（74.9%）で検討したところ173名中14名（8.1%）に高Ca血症を示したが、この結果は諸外国と比べて低い割合であった。